



株式会社リソー教育
代表取締役社長

平野 滋紀

SHIGENORI HIRANO

選手の皆様、保護者の皆様こんにちは。

私どもリソー教育グループは、お子様を夢の志望校合格へと導く、完全1対1の進学個別指導塾TOMAS(トーマス)を首都圏で展開する企業です。数々の有名選手を輩出する、伝統あるフジサンケイジュニアゴルフ選手権を「TOMAS CUP」という形で応援して、今年で11回目となります。この大会を、毎年このような形で応援できることは、当社にとってとても名誉なことと考えています。

選手の皆さんは、毎日の練習を通して、ゴルフ技術の上達だけでなく、「ゴルフの精神」ともいうべき、エチケット、誠実さ、礼儀正しさやマナー、また、自然への敬意といった大切なスポーツマンシップを、これまで沢山学んできたことでしょう。この大会を通じて、皆さんが更に心豊かな人間として成長することを願って止みません。

リソー教育のサービスは「進学指導」です。しかし、世界の人々といかに交わり、共生し、競合していくかが問われる時代、従来の詰め込み式の教育を超えた、新しい教育が求められるとして、当社は「勉強プラスワン」という独自の教育理念を掲げています。お子様にとって、勉強はもちろん大切、しかし、おけいこ事、スポーツなどに打ち込むことも大切です。自分の好きなことに打ち込むなかで、豊かな情操を育むとともに、「生きる力、生き抜く力」を養ってもらいたい。リソー教育グループは、少しでもその助けになりたいという思いで、これからもスポーツ支援活動をはじめとする社会貢献活動に取り組み、勉強に、スポーツに、頑張る子どもたちを、全力で応援してまいります。

さあ、ジュニアゴルフ選手権の開幕です。優勝した選手には、あのフジサンケイクラシックの本戦出場権が待っています。選手の皆さん一人ひとりが、周りの方々への感謝の気持ちを忘れず、全力で悔いのないプレーができるよう、心から祈っています。



株式会社 産業経済新聞社
執行役員
サンケイスポーツ代表

吉川 達郎

TATSURO KIKKAWA

昭和63年に「ジャンボ尾崎杯フジサンケイジュニアゴルフ選手権」としてスタートし、ジュニアゴルファーの育成を目的に開催してまいりました。本大会も、今年で32回目を迎えます。5月に元号が「平成」から「令和」に変わり、来年はいよいよ東京で五輪が開催されます。新時代を迎えてなお本大会が開催できますことは、主催者として誠に大きな喜びです。

本大会歴代優勝者には片山晋呉、池田勇太、今平周吾といった日本ゴルフ界を代表するトッププレーヤーが名を連ね、宮本勝昌、市原弘大、石川遼選手からも本大会から巣立っていきました。今年も全国各地から有望なジュニアゴルファーが集まってくださいました。これもひとえに、選手の皆さんや指導者、保護者の方々の深いご理解とご尽力のたまものと感謝いたしております。

本大会では「勝つこと」だけでなく、ゴルフを通じて心身ともにたくましく豊かな人間になってほしいとの思いから、選手同士が交流する機会を設けているほか、講演会などの取り組みを行っています。「勝負の厳しさ」を実感すると同時に、「ゴルフの楽しさ」を再度体感していただき、充実した三日間を過ごしていただければと思います。

最後に、本大会の開催にあたり多大なるお力添えをいただいた競技委員や運営委員の方々、特別協賛のリソー教育グループ様をはじめ協賛各社の皆様、そして深いご理解で会場をご提供くださったロイヤルスターゴルフクラブの皆様に厚く御礼申し上げます。



リソー教育グループは、フジサンケイジュニアゴルフ選手権の特別協賛を通じて、子どもたちの個性を開花させる「プラスワン」教育を推進しています。